

せせらぎ通信

2016. 9. 30 発行

磯高祭がありました！各学年の新聞委員に取材をしてもらいました。

1年生：お化け屋敷は怖かった…

1年生にとっては初めての文化祭。みんな楽しみでワクワクし、放課後や朝早くから準備を進める気合の入れようでした。縁日、お菓子屋さん、お化け屋敷など各クラスで工夫を凝らした出し物がありました。縁日にはヨーヨー釣りやボールすくいなど、お祭りの楽しい雰囲気が再現されていました。お化け屋敷では長い行列ができるほど人気で、体験したほとんどの人が悲鳴をあげて逃げ回っていました。お化け役の人は、驚かせることに快感を得ているようでした。クラスみんなで協力して作り上げたからこそ、お客さんも自分たちも楽しめる文化祭になったと思います。 (小岩・進士)



2年生：ダンスと軽音のライブは大迫力！

2年生になり2回目の磯高祭でダンス部と軽音部の発表を見に行きました。音楽を使う2つの部ですが、軽音部の音楽は大音量で迫力のある音楽でとても楽しめました。ダンス部は、キレのあるダンスと体全体で表現した発表でとても圧倒されてしまいました。来年は最後の磯高祭なので精一杯楽しみたいです。 (金山・家泉)



3年生：おいしい食べ物がたくさんありました！

文化祭期間中の中庭は屋台で盛り上がっていました。各クラスで様々な屋台が開かれていて、毎度お馴染みのジャガバタやちょっと意外なパスタ、トッポギ等いろんな種類の食べ物がありました。個人的に取り上げたいと思ったのはパスタとトッポギです。パスタは思ったよりも量が多く、トッポギは辛さがほどよく、チーズも溶けていてとてもおいしかったです。おいしい食べ物もあり、活気にあふれた文化祭でした。 (船山・土谷)



磯子職員コラムリレー 第5回 渡瀬 先生 (数学科)

「隠された、私の正体」

隠された、渡瀬の正体。まずは、こう見えて？パパです。しかも双子の男の子です。1歳半を過ぎ、元気いっぱいな彼らを相手に毎日が四苦八苦です。でも彼らの成長を見守りながらの楽しい毎日です。そして、もう1つの正体。サッカー観戦が好きです。テレビよりも、スタジアム派です。大学時代には、単独でドイツにW杯を観に行きました。ドイツW杯は2006年のことなので、皆さんは微かに記憶がある程度でしょうか？2週間程ドイツに滞在し、日本代表の試合を含め、全部で5試合を観戦しました。サッカーの本場のヨーロッパで行われたW杯だけあり、盛り上がりや取り巻く環境に驚くことばかりでした。ちなみに、ドイツでは英語が通用するのですが、先生は英語が大の苦手です。ドイツ語も話せず、一人で過ごすのに不安も大きかったですが、好きなことのためならなんとかなるし、頑張れるものです。



次回は田口先生にバトンを回します。テーマは「俺にしかできない話」です。お楽しみに！